

安全データシート(SDS)

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称

製品名称：ベルトトップコート サイドミラープラス

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途：自動車サイドミラー、バックカメラレンズ表面の撥水剤

使用上の制限：推奨用途以外に使用しないこと

供給者の会社名称、住所及び電話番号

製造元：スズキ機工株式会社

住所：〒270-2214 千葉県松戸市松飛台316-3

担当部署：品質管理部

電話番号：047-385-5311

F A X：047-385-5313

2. 危険有害性の要約

GHS分類

引火性液体：区分 2

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性：区分 2

生殖毒性：区分 2

特定標的臓器毒性(単回)：区分 1(中枢神経系、全身毒性)

特定標的臓器毒性(単回)：区分 3(気道刺激性)

特定標的臓器毒性(反復)：区分 1(血液系)

特定標的臓器毒性(反復)：区分 2(呼吸器、肝臓、脾臓)

(注) 記載なきGHS分類区分：区分に分類できない

GHSラベル要素

シンボル



注意喚起語：危険

危険有害性情報

H225 引火性の高い液体及び蒸気

H319 強い眼刺激

H361 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い

H370 臓器(中枢神経系、全身毒性)の障害

H336 呼吸器への刺激のおそれ

H372 長期にわたる、又は反復暴露による臓器(血液系)の障害

H373 長期にわたる、又は反復暴露による臓器(呼吸器、肝臓、脾臓)の障害のおそれ

注意書き

安全対策

P202 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

P210 熱、高温のもの、火花、裸火および他の着火源から遠ざけること。禁煙。

P233 容器を密閉しておくこと。

P240 容器を設置しアースを取ること。

P241 防爆型の【電気、換気、照明などの機器】を使用すること。

P242 火花を発生させない工具を使用すること。

P243 静電気放電に対する措置を講ずること。

P260 粉塵、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。

P271 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。

P264 取り扱い後は手および皮膚をよく洗うこと。

P280 保護手袋、保護衣、保護メガネ、保護面、保護マスクを着用すること。

P270 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。

P271 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。

応急措置

- P370+P378 火災の場合：消火するために適切な消火剤を使用すること。
 P321 特別な処置が必要である。
 P314 気分が悪い時は、医師の診察/手当を受けること。
 P308+P316 ばく露またはその懸念がある場合：すぐに救急の医療処置を受けること。
 P304+P340 吸入した場合：新鮮な空気のある場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 P303+ P361+P353 皮膚(または髪)に付着した場合：直ちに汚染された衣類を脱ぐこと。接触部位を水またはシャワーで洗うこと。
 P305+P351+P338 眼に入った場合：流水で数分間洗い流す。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 P337+P317 眼の刺激が続く場合：医療処置を受けること。

保管

- P403 + P233 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
 P403 + P235 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
 P405 施錠して保管すること。

廃棄

- P501 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区分：混合物

成分名	含有量(%)	CAS No.	化学式	化審法 ※1	PRTR法 ※2	毒劇物該非 ※3	安衛法 ※4
イソプロピルアルコール	95%≦	67-63-0	C ₃ H ₈ O	2-207	非該当	非該当	通知物質 表示物質
シリカ微粉末	5%≧	非公開	非公開	既存	非該当	非該当	非該当

※1 化審法 官報公示整理番号

※2 PRTR法報告物質：非該当 該当物質は含有しない。

※3 毒物および劇物取締法：非該当 該当物質は含有しない。

※4 労働安全衛生法：該当 表示物質、通知物質 イソプロピルアルコール

4. 応急措置

吸入した場合

- 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 気分の戻らないときは、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

- 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。
 皮膚刺激が生じた場合は医師の診察/手当を受けること。
 汚染した衣類を再使用する場合は洗濯してから使用すること。

眼に入った場合

- 水で最低15分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当を受けること。

飲み込んだ場合

- 直ちに水で口の中を洗浄する。
 無理に吐かせない。
 直ちに医師の診断を受けること。

医師に対する特別な注意事項

特に無し

5. 火災時の措置

消火剤

粉末消火薬剤、二酸化炭素、砂、霧、耐アルコール性消化剤

使ってはならない消火剤

冷却目的で霧状水を用いても良いが、消火に棒状水を用いてはならない。

火災時の特有の危険有害性

燃焼ガスには、一酸化炭素等のほか、窒素酸化物系のガス等の有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には、

煙を吸入しない様に注意する。

特有の消化方法

消火作業は可能な限り風上から行う。

関係者以外は安全な場所に退去させる。

周辺火災の場合に移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。

周囲の設備等の輻射熱による温度上昇を防止するため、水スプレーにより周辺を冷却する。

消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しない様な適切な措置を行う。

消火を行う者の保護

消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク)を着用する。

消火活動は風上から行い、有毒ガスの吸入を避ける。状況に応じて呼吸保護具を着用する。

燃焼又は高温により有毒なガス(一酸化炭素、二酸化炭素等)が生成するので、呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。

漏出時の処理を行う際には、必ずゴム手袋、保護眼鏡、保護衣等を着用すること。

作業の際には適切な保護具を着用すること。

風上から作業し、風上の人を退避させる。

着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。

こぼれた場合はすべりやすいために注意する。

環境に対する注意事項

流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさない様に注意する。

回収、中和

少量の場合は、吸着剤(おがくず・土・砂・ウエス等)で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等によく拭き取り、密閉できるから容器に回収する。

大量の場合には、盛土で囲って流出を防止、安全な場所に導いてから処理する。

付着物、廃棄物等は、関係法規に基づいて処置する。

二次災害の防止策

漏出時は事故の未然防止および拡大防止を図る目的で、速やかに関係機関に通報する。

付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。

火花を発生しない安全な用具を使用する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

使用前に取扱説明書を入手すること。

製品記載の使用上の注意を良く読み、用途以外に使用しないこと。

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること。

屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。

熱／火花／裸火／高温のもののような着火源から遠ざけること。一禁煙。

容器を接地(アース)をすること。

静電気放電に対する予防措置を講ずること。

火花を発生しない工具を使用すること。

防爆型の電気機器を使用すること。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

容器を密閉しておくこと。

保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

保管

適切な保管条件

換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。

施錠して保管すること。

安全な容器包装材料

特になし

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策

屋内は全体に換気する。換気の悪い場所及び蒸気の発生が多い場所には局所排気装置を設ける。

管理濃度・許容濃度

記載のないものは、知見なし、あるいはデータなし。

成分	管理濃度	許容濃度		
		日本産業衛生学会	ACGIH	
			TLV-TWA	TLV-STEL
イソプロピルアルコール	200ppm	400ppm	200ppm	400ppm

保護具

呼吸用保護具

必要に応じて防塵マスク、防毒マスク、有機溶剤用の防毒マスク等を着用する。

手の保護具

必要に応じて保護手袋等を着用する。

呼吸用保護具

必要に応じて防塵マスク、防毒マスク、有機溶剤用の防毒マスク等を着用する。

手の保護具

必要に応じて保護手袋等を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物性状態、形状、色等	:	液体
臭い	:	アルコール臭
融点・凝固点	:	データなし
沸点、初留点及び沸点範囲	:	83℃
可燃性	:	データなし
引火点	:	12℃
燃焼又は爆発範囲の上限・下限	:	データなし
自然発火点	:	データなし
分解温度	:	データなし
pH	:	データなし
動粘性率	:	データなし
溶解度	:	データなし
n-オクタノール/水分配係数	:	データなし
蒸気圧	:	データなし
密度	:	0.79
相対ガス密度	:	データなし
粒子特性	:	適応外

10. 安定性及び反応性

反応性

化学的安定性

通常取り扱いにおいては安定である。

危険有害反応可能性

データなし

避けるべき条件

加熱・熱源・裸火

混触危険物質

強酸化剤、強酸、強塩基

危険有害な分解生成物

データなし

11. 有害性情報

急性毒性(経口): 分類できない

皮膚腐食性/皮膚刺激性: 分類できない

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 区分2

呼吸器感作性又は皮膚感作性: 分類できない

生殖細胞変異原性: 分類できない

発がん性:分類できない
 生殖毒性:区分2
 特定標的臓器毒性(単回ばく露):区分1/区分3
 特定標的臓器毒性(反復ばく露):区分1/区分3
 誤えん有害性:分類できない

12. 環境影響情報

水生環境有害性 短期(急性):分類できない
 水生環境有害性 長期(慢性):分類できない
 残留性・分解性:急速分解性あり イソプロピルアルコール(分解度 86% (by BOD) 出典NITE)
 生体蓄積性:イソプロピルアルコール log Pow : 0.05 (出典 ICSC 2020)
 土壌中の移動性:データなし
 オゾン層への有害性:データなし

13. 廃棄上の注意

内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

14. 輸送上の注意

国際規則

海上規制情報	:IMOの規定に従う。
UN NO.	:1993
Proper Shipping Name	:ISOPROPYL ALCOHOLS, N.O.S.
Class	:3
Packing Group	:II
航空規制情報	:ICAO/IATAの規定に従う。
UN NO.	:1993
Proper Shipping Name	:ISOPROPYL ALCOHOLS, N.O.S.
Class	:3
Packing Group	:II

国内規則

陸上規制情報	:消防法の規定に従う。
容器イエローラベル指針番号	:127
海上規制情報	:船舶安全法の規定に従う。
国連番号	:1993
品名	:イソプロピルアルコール
クラス	:3
容器等級	:II
航空規制情報	:航空法の規定に従う。
国連番号	:1993
品名	:イソプロピルアルコール
クラス	:3
等級	:II

輸送の特定の安全対策および条件

容器の破損、漏れがないことを確かめる。
 荷崩れ防止を確実に行う。
 該当法令に従い、包装、表示、輸送を行う。
 直射日光を避ける。
 水漏れ厳禁。
 横積み厳禁。
 輸送容器は衝撃を与えない様に、ていねいに取扱う。転倒したり、激突させたりしない。

15. 適用法令

消防法

第4類アルコール類(指定数量:400L)

労働安全衛生法

法第57条、施行令第18条 別表第9 名称等を表示すべき有害物質

政令番号:494 イソプロピルアルコール

法第57条の2、施行令第18条の2 別表第9 名称等を通知すべき有害物質

政令番号:494 イソプロピルアルコール

施行令別表第1第4号

危険物・引火性の物

有機溶剤中毒予防規則

第二種有機溶剤

特定化学物質の環境への排出量の把握および管理の改善の促進に関する法律(PRTR法)

非該当

海洋汚染防止法

有害液体物質(Z類物質)

航空法

施行規則第194条 引火性液体類

船舶安全法、危険物船舶輸送及び貯蔵規則

規規則第2条 危険物・引火性液体類

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

施行令第2条の4 特別管理産業廃棄物

16. その他の情報

原産国:日本

参考文献

- ・JIS Z 7253/2019『GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル、作業場内の表示及び安全データシート』 日本規格協会
- ・『化学品の分類および表示に関する世界調和システム(GHS)改訂9版』 国際連合
- ・GHS分類結果データベース (独)製品評価技術基盤機構

※製品安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取扱いを確保するための参考情報として、取扱い事業所に提供されるものです。取扱う事業所は、これを参考として、自らの責任において、個々の取扱い等の実態に応じた適切は処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いいたします。従って、本データシートそのものは、安全の保証書ではありません。